

世界遺産

# 白川郷

平成二十一年(二〇〇九)  
伝統木構造の会 東海事務局共催  
ウィンターセミナー

※企画内容には一部変更が見込まれます。



伝統木構造の会

伝統は新たな未来

東海事務局 〒487-0021 春日井市東神明町486-2

どん栗館3F内

TEL.0568-51-6616 FAX.0568-51-6629

Mail:info@tokarin.jp

## 第1日目 ー2月28日(土)ー

9:30～ 名古屋駅貸切バス出発(利用者のみ)

13:00～ 集合・受付

■道の駅「白川郷」内、白川村総合文化会館(※地図参照)

13:30～

■第一講座 合掌造り民家の構造及び茅葺き屋根について  
(実際の合掌民家を前にして説明します。)

講師 松本 継太 氏 (財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団  
文化財専門設計監理技士

『合掌民家の構造と維持・管理について』(仮題)

合掌の棟々は谷川の流れの方向に建つ。養蚕を中心に置く生活形態が合掌民家をかたどる。長くこの集落の修復・保存に係わる松本氏は合掌の隅々まで見てきた。地域・気候・習慣、そこから生まれる「すまい」。そこにプロタイプがあるのかもしれない。

講師 和田 茂 氏 (有)白川郷かや屋根技術舎

『かや屋根に秘められた技』(仮題)

茅葺き屋根は「もつ」ものではなく、「もたせる」ものだと言う。通常だと20年程度の周期が、白川村の合掌は30年という。場合によっては50年と。さて、そうさせているのは「結」か？

15:30～

■第二講座 講演

講師 降幡 廣信 氏 (株)降幡建築設計事務所 所長

『私のふれた地方民家、白川郷 他』

古民家再生では第1号者の降幡先生の作品の根底には、日本中の民家の隅々からご自身の足で集められた「体感」からの独特の作風があるのではないのでしょうか。「みた」ではなく「ふれた」を強調される思いは私達実務者が学ぶべきものがあります。

17:30～18:00

■移動

各宿泊する合掌民家へマイクロバスで移動。その後各民家で食事をとって頂きます。

19:30～20:00

■集合・移動(場所は第1講座会場にてご案内します。)

20:00～

■懇親会 蕎麦庄「やまこし」

会場の蕎麦庄「やまこし」は降幡先生の設計した建物です。先生からの建物の説明の後に酒宴の開催です。

## 第2日目 ー3月1日(日)ー

9:00～

■第三講座 見学「和田屋」

白川村合掌集落の最大規模の民家です。江戸初期の建築文化の粋をみる事ができます。

説明 和田家 和田 正人 氏

10:30～

■終了式 「和田屋」

11:00

■終了